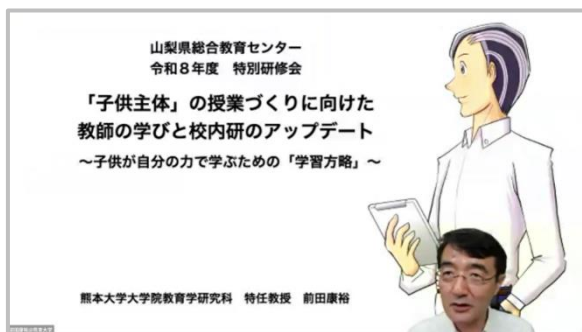


【101 特別研修会 I】



6月10日（水）に熊本大学特任教授の前田先生を講師に、特別研修会 I を実施いたしました。研究と修養に絶えず努める教員集団を目指し、昨年度より、研修の“カタチ”を変える提案をしています。学校全体の資質向上を図るためにも、校内研の新たな“カタチ”について、一つのモデルになると考えます。勤務時間中に全ての教員に保障された研究・研修の時間である校内研の1コマを、学校全体で研修を受講する“カタチ”にし、目の前の子供たちや学校の課題を共有している仲間とグループセッション(対話)することで、内容を自分事に変換し、研修後の実践に繋げていただきやすくなります。

昨年度、「学校単位で参加するために早めに予定を」というお声をいただき、2月にチラシを配付しました。今年度は26校が校内研として参加してくださり、総参加人数537名と、多くの先生方とともに学べたことを大変ありがたく思っております。本センターの研究推進校2校には担当の指導主事が赴き、ファシリテーターを務めるなどして、先生方に対話を深めていただくこともできました。

インタラクション（双方向）の場面では、参加者みなさんにパドレットにご記入いただき、即時共有できたこと、場面によっては対話をして、考えを聞き合うこともできました。

今年もたくさんの気づきと学びが生まれ、「自分ならどんなことから始めようか」と考えることもできたのではないのでしょうか。それぞれの学校で、先生方が主体的に学び合う校内研が繰り広げられていくことを期待しております。



校内研（学習会）として参加いただいた皆さん



トークセッションも和気藹々として盛り上がります



皆様の感想をいくつか紹介させていただきます。

講演内容に関わって…「児童への指導の改善内容が実は、教師にとっても自身の指導改善になる。」

「まずは教師が学ぶこと、校内研をアップデートし、全員が自分事として考えること、子供たち自身が課題を決め、見通しを持って課題解決を行い、対話しながら言語化していくこと」「私たち教師も、自ら問いを立て、実践を積み重ね振り返り、次につなげていく探究的な学びをデザインしていかなければならない。そして学校を学習する組織にする」という考え方に共感」「自分の言葉で表現する場があることで、研修内容をより『自分事』として深く捉え直せた」「学習基盤となる資質・能力として、言語能力と情報活用能力の向上のために、振り返りを言語化したり、目的に合ったツールを使ったりすることが必要」「対話をしてみると、自分の考えが整理できることがわかり、この良さを子どもたちにも実感してほしい」「子供に挑戦してみよう、変化を恐れずに、と声をかけているにも関わらず、自分が一番挑戦できず、変化を恐れていることに気が付いた」

企画・運営に関わって…

「授業作りは担任だけじゃない。学校全体で行うから全校教職員で研修できる機会があつてよかった。」

校内研で参加…「全員で視点を共有しながら学習することができたことで これからの研究に生かしていくことが出来そう」「校内研と兼ねた方法は、講師の選出や依頼等、負担となる部分の軽減に」「全職員が参加でき、問題や今後の方向性を共有できた」「授業観の転換や学習方略、校内研のスタイルの改善について、校内で共有する機会になった」「実際の困り感や校内の状況を知ることができ、活発な意見交流で主体的な研修会になった」「校内研として学校の職員で参加したのは初めてだったが、みんなと同じ事を学び、目指す方向性が共有できたことは、とても良かった」

これからの教育活動に向けて…

「子供も教師もだれ一人取り残さず、仲間とともに学び合う学級、学校を目指したい。」

「1人ではなく学校全体で運営していくということを強く感じる事ができ、不安要素が減った。」

自分事として…「自分の授業の問題を発見し、課題を設定して毎日臨もう。」「学習者を育てることをこの1年間の中でしていきたい。」「自分なりに悩みながら取り組んでいる。自分自身もアップデートしていきたい。」「これから研究授業に臨む際も、気づきを大切に自らの言葉でアウトプットすることを続けながら、自分の授業改善に努めたい。」「子供の学力向上のために、子供の学ぶ意欲を高めるために、まずはやってみようと思う。」「自己調整学習サイクル AAR を意識していきたい。」「できるところから「課題を決め、自己解決する」、「情報を集めたりまとめたりするのに ICT を活用する」ということも取り入れてみよう」

研究推進として…「教え方のプロと同時に、学び方のプロという意識をこれから意識していきたい」「校内研究会の中で一人ひとりが一年間の目標をたて、それを見つめ直す時間を作っていけたら」「毎回の校内研が楽しみになるように、工夫していきたい」「自分の課題を解決するために同じ学校の先生方と言葉を交わしてヒントを得たり、聞いたことを実践してみたりすれば、もっとレベルアップにつながる」

来年度もこの“カタチ”での特別研修会 I を計画します。2月には予定をお知らせいたしますので、ぜひ、校内研（学習会）として、学校・学年単位での参加をご検討ください。